

# 文章を吟味・評価する力を育てる国語科学習指導

## —新聞記事の比較読みを通して—

教育内容・方法開発専攻

文化表現系教育コース

言語系教育分野（国語）

M11168C

長谷川 裕子

### 1. 研究の目的

本研究の目的は、文章を吟味・評価する力の育成を目指す新聞を活用した授業の提案である。

吟味・評価する力の育成に比較読みという方法を用いて授業実践を行った。この比較読みが吟味・評価する力の育成に有効であること、そして比較読みの教材として新聞が適切であることを明らかにする。

### 2. 論文の構成

#### 第1章 研究の目的と先行研究・先行実践の検討

1. 国語科教育に求められる言語能力
2. 吟味・評価する力の育成を目指す新聞活用
3. 本研究の目的

#### 第2章 吟味・評価する力を育む国語科学習指導の実際

1. 実践授業のねらいと概要
2. 新聞記事の「本文」を中心にした比較読み
3. 新聞記事の「見出し」を中心にした比較読み
4. 新聞記事の「写真」を中心にした比較読み
5. 3クラス合同授業による比較読み

#### 第3章 研究の成果と課題

1. 研究の成果
2. 今後の課題

### 3. 論文の概要

#### 第1章

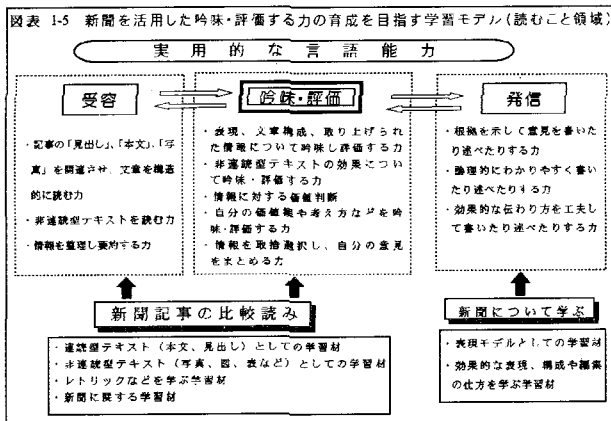
これからの社会に求められる能力は、自ら課題を発見し解決する力、コミュニケーション能力、物事を多角的な視点から考察する力、様々な情報を取捨選択できる力などである。とりわけ高度情報化社会において、情報を吟味・評価し判断して、情報を取捨選択し利用する能力が求められている。

第1節では、社会的背景や国内外の各種学力調査で明らかになった課題から、国語科教育において実生活で活用できる、実用的な言語能力の育成が求められていることを明らかにする。学習指導要領の言語活動例において新聞活用に関する記述が見られることから、日常生活や社会生活を営む上で必要な実用的な言語能力の育成に有効な教材の1つとして新聞が取り上げられていることを述べる。

第2節では、新聞活用の先行研究、先行実践としてNIE活動を中心に、新聞活用によって身につく「言語能力」や「学習材」としての使われ方について検討し課題を明らかにする。

そして、新聞が学習材として様々な機能を持つことを示し、新聞を広範に活用することで吟味・評価する力を身に付けることができることを明らかにする。また、文章を吟味・評価する力の育成に比較読みが有効であることを示し、これまで限定的であった新聞活用の幅を広げ、以下のような新聞の特性を生かした「新聞を活

用した吟味・評価する力の育成を目指す学習モデル」を提示する。



新聞の比較読みを通し、正確に情報を「受容」したうえで「吟味・評価」し、それを「発信」していく力を身に付けさせることを目指す。

## 第2章

第2章では、新聞の特性を生かした読解の学習モデルに基づいて行った授業実践について述べる。本実践の特徴は以下の2点である。

- ① 「吟味・評価」を中心とした実用的な言語能力を身に付ける。
- ② 3学級違う視点から新聞記事の比較読みをさせ、最後に交流することによって1単元6時間の短い時間数で実施する。

第1節は実践授業のねらいと概要について説明する。第2節から第5節は各クラスで行った、新聞記事の「本文」、「見出し」、「写真」を中心にした比較読みの授業と3クラス合同授業の実際を示し、教材に対する学習者の反応や学習者の相互作用を分析し、生徒がいかに実用的な言語能力を身に付けたかについて考察を行う。

## 第3章

第3章では、本研究における成果と今後の課題について述べる。

## 4. 研究の成果

- (1) 文章を吟味・評価する力の育成において、新聞の比較読みが有効である事を明らかにした。
- (2) 短い時間数で「吟味・評価」を中心とした実用的な言語能力を身に付けさせる授業を提案した。

## 5. 今後の課題

- (1) 教科書教材と新聞教材との関連

新聞を活用した授業により身に付けた言語能力を、他教材や他教科の学習にどう活用していくのかという視点が必要である。そこで、教科書教材と新聞教材を関連させ、年間指導計画の中に位置づけた国語科のカリキュラムの試案を作成し考察を行った。

他教科との関連や各学期や学年ごとの発達段階と指導過程を踏まえ、新聞教材を用いて身に付けさせる能力を明確に示した年間指導計画の検討が必要だと考える。

- (2) 自ら課題設定する力を身に付ける新聞活用の在り方

自ら課題を設定する力もこれからの社会に必要な能力の1つである。課題設定力を育むには、課題意識を持って読む姿勢を身に付けることが必要である。そのためには自分の身の回りや社会に目を向け、世の中の様々な出来事に興味関心を持たせなければならない。それには、新聞を読ませることが有効な手段の一つだと考える。

新聞を用いて、課題設定する力を身に付けさせるような継続した学習の取り組みと、新聞に慣れ親しむ環境を整えることが求められる。

主任指導教員 堀江 祐爾  
指導教員 堀江 祐爾